

透析患者における大腿骨近位部骨折後の予後についてに関する研究

1. 研究の対象

2009年3月～2024年3月の間に維持透析を受けており、大腿骨近位部骨折を受傷された方。

2. 研究目的・方法

近年、人口の高齢化により、大腿骨近位部の骨折を受傷する人は増加しています。大腿骨近位部骨折を受傷した方の1年以内の死亡率は日本では約10%、海外では10～30%ともいわれており、予後に非常に影響する疾患です。しかしながら日本では、維持透析を受けている方で大腿骨近位部骨折を受傷している方の予後については未だに不明です。

私達は、過去の診療記録を用いて、維持透析を受けている方で、大腿骨近位部骨折を受傷した方の経過について調査します。また、基礎疾患や透析歴、血液データ等も調査し、その予後に影響する因子について明らかにしていきます。大腿骨近位部骨折の予後に影響する要因が明らかになれば、それに介入することで予後が改善する可能性が期待できます。

研究期間：高知高須病院長の倫理審査委員会承認後～2026年3月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、血液データ 等

4. 外部への試料・情報の提供

高須病院から本学へのデータ提供は、電子記録媒体を用いて行います。情報の保存については、匿名化を行ったのち、研究責任者が高知大学医学部整形外科教室医局において電子データで保存します。

5. 既存試料・情報の提供のみを行う機関

医療法人尚腎会 高知高須病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知県南国市岡豊町小蓮

国立大学法人高知大学医学部整形外科教室 佐竹哲典

電話：088-880-2387

研究責任者：

国立大学法人高知大学医学部整形外科教室 佐竹哲典